

一宮市
博物館
だより

No.37 2005.10



キトラ古墳石室の南壁に描かれた朱雀

特別展「発掘された日本列島2005」で
展示されるキトラ古墳の石室模型には、
フォトマップ方式で撮影された精緻な
画像が使用されています。

新発見
考◎古
速報展
文化庁主催



<http://www.museum.or.jp/kouko2005>

発掘された 日本列島 2005

全国史跡整備市町村協議会40周年記念事業



開催日時:2006年1月5日(木)~1月29日(日)

地域展「赤の美学—パレススタイル—」

弥生時代後期から古墳時代前期にパレススタイル土器の本場であった濃尾平野。そのデザインや色彩にはこの地域の先進性を見ることができます。この地域展では、濃尾平野各地から出土するパレススタイル土器の優品を紹介します。

観覧料(常設展含む)	
一般	400円(320円)
高・大学生	200円(160円)
小・中学生	100円(80円)

()内は前売り、20人以上の団体料金

講演会

- と き/1月22日(日)午後1時30分から
- と ころ/妙興寺公民館
- テーマ/「列島展2005みどころ・あれこれ・よもやま話」

展示説明会

- と き/1月8日(日)、15日(日)午後2時から
- 講 師/博物館学委員

小中学生のための展示説明会

- と き/1月7日(土)、21日(土)午後2時から
- 講 師/博物館学委員

【主 催】文化庁 一宮市博物館
 【共 催】全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 全国埋蔵文化財法人連絡協議会 全国史跡整備市町村協議会 【事務局】(財)ちぎ生誕学習文化財埋蔵文化財センター
 【特別協力】朝日新聞社 【協 力】インターネットミュージアム事務局 【後 援】NHK 【協 賛】(株)ジャパン通信情報センター (株)東都文化財保存研究所

新発見
考古速報展

発掘された
日本列島
2005

昨年日本中で数多くの遺跡の発掘調査がありました。みなさんの町でも、発掘が行われていませんか？今回、ここに展示したものは、非常に注目を集めた調査の成果です。みなさんの近所で出土したものがあるかも知れません。今年はその出土品のほかに、遺跡をわかりやすく整備し、現代によみがえった遺跡10箇所を紹介します。列島に暮らした人々の足跡を、この機会に振り返ってみませんか。



障が聖城跡
白磁水注



キトラ古墳
銅座金具



八尾南遺跡
絵画土器



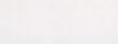
旧石器時代



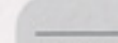
縄文時代



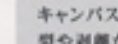
弥生時代



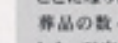
古墳時代



古代



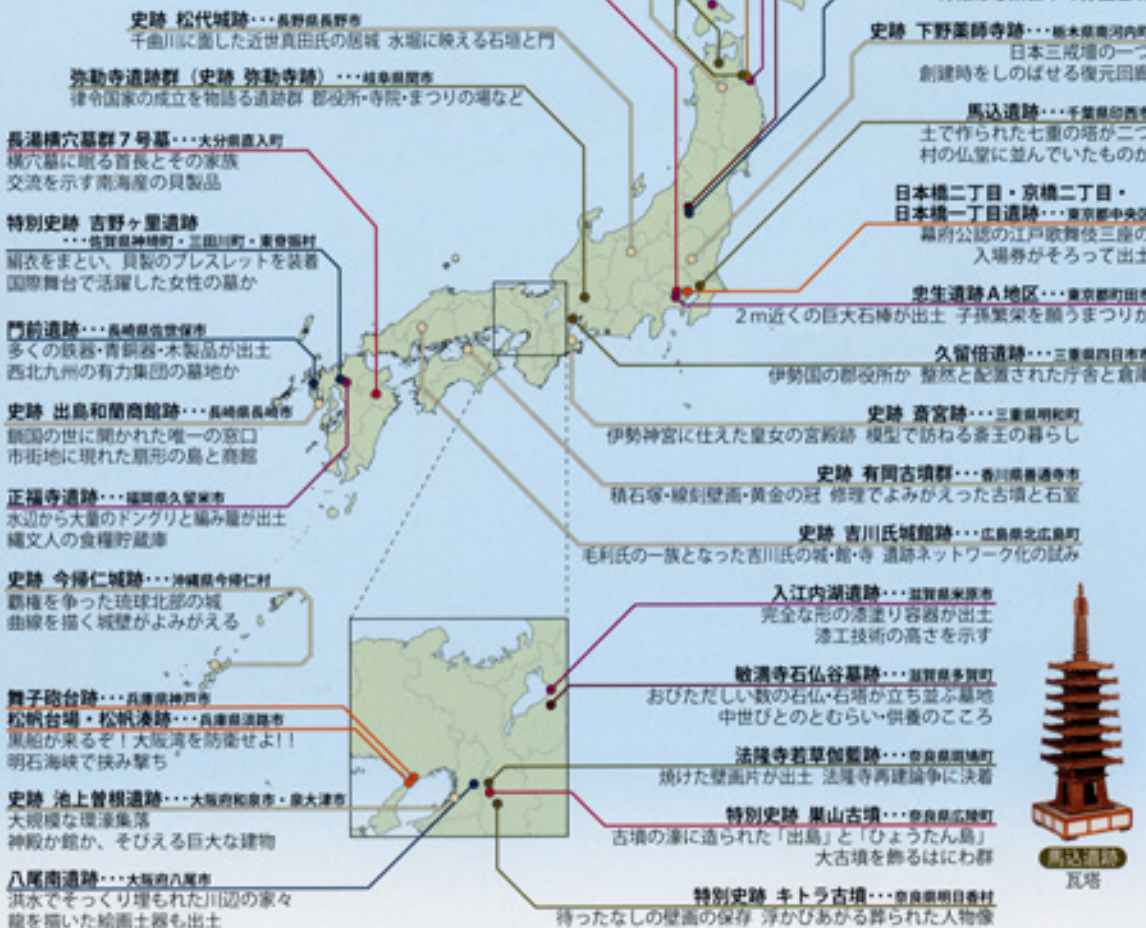
中世



近世



テーマ展示



馬込遺跡
瓦塔

発掘された日本列島2005 みどころ紹介

キトラ古墳

キトラ古墳の壁画は、四神、十二支像、天文図など飛鳥文化の縮図です。ところが壁画のキャンパスである漆喰は、もろくなって大きな亀裂や剥離がみられ、たいへん危険な状態でした。そのため、壁画を取りはずして保存修復を行うことになりました。石室内からは棺の金具や副葬品の数々、熟年男性の歯や骨が見つかりました。石室の模型、壁画の精巧な実物大写真、使われた道具類などが展示されており、息詰まる作業のようすがうかがえます。

法隆寺若草伽藍跡

法隆寺は世界最古の木造建築として有名です。若草伽藍跡はこれに先立って聖徳太子が建立した寺院(真鴨寺)跡と考えられています。今回の調査で、火災で焼けた壁画の破片が出土しました。これは現存する最古の仏教壁画ですが、670年に法隆寺が全焼したという『日本書紀』の記述を裏付けるものです。これにより現在の法隆寺は再建されたことが証明され、長年の再建・非再建論争に終止符を打つ発見です。

テーマ展示 「現代によみがえった遺跡」

日本列島には44万箇所以上の遺跡がありますが、これらの中でも重要なものについては「特別史跡」や「史跡」に指定し、保護が図られています。これらの遺跡では、内容をわかりやすく示すために、建物などが復元・整備されて、地域のシンボルともなっています。今年には「全国史跡整備市町村協議会」の40周年にちなみ、各地から10箇所以上の遺跡を取りあげ、その内容や復元・整備のようす、出土品などを紹介します。

くらしの道具—今と昔—

2005.10.1 (土) → 11.27 (日)



展示室の様子

くらし展の十五年

「くらしの道具—今と昔—」展は、平成三年度から十五年の長い期間にわたって毎年継続開催をしてきた、小学校四年生のための展覧会です。

平成十四年度からは、今と昔という時間軸だけではなく、自然環境によつて暮らし方が異なるという空間軸を取り入れた展示へと発展させました。木でできた道具が多い山の暮らし、流通品が多い平野や海の暮らし。今年のくらし展も、道具の違いを探して、「平野の暮らしを考える」という方向性で展示をします。

穴の開いた五升枧

子どもたちの間で最も人気のある展示資料が、穴の開いた五升枧。米の量をはかる枧と全く同じ形をしています。これは海のくらしで使う道具ですが、なぜ穴が開いているのでしょうか？ はかるのは米ではなさそうです。

目指す場所

平成十六年度には、Kids講演会を最後に聞き、小学校を代表して「くらし展で学んだこと」を発表してもらいました。ペープサートを使ったり、パワーポイントを使用するなど、多種多様な発表方法で行われました。この成果は、よりわかりやすい展示への布石となるものでした。

日曜日には、海・山・平野のお話と味を組み合わせた講座を行います。海は日間賀島、山は木曾福島町のみささんに紹介してもらいます。目指す場所は、去年の4年生が遊びに来て、今年の4年生とともに参加してくれることであると云えます。

(久保 植子)



うおますにあいた穴

子どものための講演会と体験

海のくらしを体験！ 10/16 (日)

日間賀島のみなさんから、海辺の暮らしや漁業のお話を聞きます。さらに、タコめし・シラスめし・ゴンドウ汁(雑魚(さご)が入ったみぞ汁)など、海の幸を味わってみよう!

平野のくらしを体験！ 10/30 (日)

一宮周辺の暮らしのお話を聞きます。さらに、定番となったセンバヤキはもちろんです。ワラの刀づくりにも挑戦してみよう!

山のくらしを体験！ 11/13 (日)

木曾川上流地域の山の暮らしの今と昔、植物・動物と人とのががわりなど、いろいろなお話を聞きます。さらに、ゴヘイモチやヘーモチ、ホウバメシなど、一宮にはない味を、体験してみよう!

[時間] 午前10時~12時/午後1時~3時 ※詳細はホームページアドレスをご覧ください。



Kids講演会(神山小学校)

みんなはちびっこ考古学者!

7月30日(土)～8月28日(日)

3486人

講座から始まる展示

「一宮市博物館ではこれまで、考古学を身近に感じ、体験をしながら歴史を学ぶことができる講座を開催してきました。また、平成十六年度からは、学芸員が実物・復元資料を使って授業をするというアウトリーチ活動も行っています。

今年さらには、実際に道跡から出土した資料を観察できるように、展示会を同時開催しました。小学校4年生で学ぶ「くらしの道具」をさかのばれば、「米はいつから食べているの?」「織物はいつからあるの?」「昔の釜はどんな形?」など、道具の「今と昔」の話はますます広がっていきます。

今回の展示では、6年生が1学期に学んだ縄文・古墳時代の生活道具の中から、石器、土器、骨角器、木器、織物・編物を取り上げました。「展示や毎週日曜日に開催する講座を通して、本では学ぶことができない歴

史の見方やとらえ方を考えてもらえたのではないかと思います。

十五人が描く縄文・弥生の暮らし

解説書では、石器は石器の研究者に、土器は土器の研究者にと、それぞれのエキスパートに縄文・弥生時代の人々の暮らしを描いてもらいました。

テーマは、**考古学入門・土の道具・石の道具・角と骨の道具・木の道具・布を編む・布を織る**という6つのテーマで、編年や型式変化をとらえるのではなく、「どうやって作るんだろう?」「材料は何だろう?」「どこから運ばれてきたんだろう?」など、素朴な疑問に答えてくれるものです。考古学は難しいけれど、暮らしの道具は身近です。「道具」の視点で考古学資料を見ていくと、くらし展に並んでいる道具に行き着いたりします。

さらに、見たり読んだりするだけでなく、自らの体験を通じて得た記憶は、いつまでも残るものです。これからも博物館という場を利用して、子どもたちが多くの体験をし、成長していくためにも、博物館はさらなる研鑽を積み、多くの機関や研究者と連携をし、より良い学習環境を提供していきたいと考えています。

「来るものは拒まず」がモットー

日曜日の講座では、参加者の人数が朝までわからないという恐怖に耐えながら、5回の講座をやり抜くことができました。最も多かったのが骨角器。織の形になかなかならず、縄文人や弥生人の苦勞を感じたようです。

(久保 禎子)

子どものための尾張歴史講座

縄文時代の布を編む・

7月31日(日) 参加者 四十二人



石器を作って、使ってみよう!

8月7日(日) 参加者 六十八人



土器を作って、使ってみよう!

8月14日(日) 参加者 六十三人



シカの角で織(やじり)を作ろう!

8月21日(日) 参加者 百十七人



1600年前の琴を作って奏でよう!

8月28日(日) 参加者 四十四人



平成17年4月29日～5月29日
**一宮市・尾西市・木曾川町合併記念
 いちのみや文化財展**



記念講演会



昭和の合併に関わる史料

この展覧会は、四月一日に実施された合併を記念したもので、旧二市一町に伝承する種々の文化財六四点を紹介しました。

また、明治以降の地方制度や市町村合併についても着目し、館蔵を中心とする行政文書・刊行物類から、一宮市域の変遷を辿りました。なかでも一宮市と起町(後の尾西市中心城)が対立し、周辺町村への誘致合戦が



展覧会場

繰り広げられた昭和の大合併(昭和三〇年頃)については、豊富に残された史料から、当時の状況や経緯を明らかにしました。この出来事は、わずか五〇年前のこととはいえ、多くの来館者にとってはじめて知る身近な歴史だったようで驚きの声が寄せられました。

五月一五日には、記念講演会を開催し、平田伸夫先生にご講演をいただきました。先生には、一宮市文化財保護審議会委員として、長年にわたり市の文化財保護にお骨折りをいただいております。講演では、「文化財講話―一宮市の文化財にふれて―」と題し、文化財の基礎知識、価値評価・真贋等における問題などについてお話をいただきました。

(岩井 章真)

平成17年4月1日
合併後の市指定文化財について

平成一七年三月三十一日時点にて、一宮市・尾西市・木曾川町の指定を受けていた文化財は、四月一日以降全て一宮市指定文化財として取り扱うこととなりました。(左表の

指定(登録)文化財 集計

平成17年10月1日現在

区分	種別	旧一宮市				旧尾西市				旧木曾川町				新一宮市				
		国	県	市	計	国	県	市	計	国	県	市	計	国	県	市	計	
有形文化財	建造物	1	2	8	11			2	2			1	1	1	2	11	14	
	建造物(登録)		-	-		1	-	-	1		-	-		1	-	-	1	
	美術工芸品	絵画	6	7	30	43			6	6			3	3	6	7	39	52
		彫刻	3	2	45	50			6	6			9	9	3	2	60	65
		工芸品	2	11	16	29			6	6	1	20	21	2	12	42	56	
		書跡	1	1	4	6			6	6			5	5	1	1	15	17
		典籍											1	1			1	1
		古文書	1			1									1			1
	考古資料		2	11	13							1	1		2	12	14	
	歴史資料							4	4							4	4	
文化財(無形)	芸能			2	2										2	2		
	工芸技術							1	1						1	1		
文化財(民俗)	有形民俗			4	4			3	3			1	1		8	8		
	無形民俗		2	1	3			2	2			1	1	2	4	6		
記憶遺産	史跡	史跡	3	5	8	1	1	9	11			7	7	1	4	21	26	
		名勝	1			1									1		1	
	天然記念物	動物																
		植物			18	18			2	13	15				2	31	33	
地質鉱物																		
伝統的建造物群																		
合計		15	30	144	189	2	3	58	63	0	1	49	50	17	34	251	302	

とおりで) かしながら、旧二市一町では、文化財指定の方針や性質、また名称の付け方などにも多くの相違が見られます。これらの問題につきましては、今後、長い時間をかけ、皆様のご理解を頂きながら、検討を進めて参りたいと思います。

平成17年6月18日～7月18日
特別展 華麗なるペルシャ絨毯の世界
 —イラン、ミールー工房の
 復元作品と古典作品—

この特別展は、ペルシャ絨毯とイラン文化を日本に紹介している千代田トレーディングと東京都渋谷区立松濤美術館とが企画し、イランのテヘランで古代絨毯の研究を重ねているミールー工房の協力によって実現したものです。オープニング当日午後に行われたギャラリートークで千代田トレーディング代表のアリ・ソレマニ氏は、紀元前五世紀以前から作られていたとされるペルシャ絨毯の長い歴史を説明しながら、地域や民族によってデザインが異なる多彩な作品の数々を解説されました。製作に三年半を要したという今回展示した新作物の最高傑作とされる作品の前では、目の詰んだ艶やかな毛並みが光の当たる方向によって色合いが変化してゆく様を見、皆感嘆の声を上げていました。



本展でユニークだったところは、所蔵者のご厚意により、一部アンティーク作品を除き実際に肌触りを確かめることが出来たということです。絨毯は敷物であり、人々の生活の中で使われてこそ価値が上がり、作りたてよりも長い間使用し、汚れたら洗うという経験を経た方がしなやかで良質の絨毯になるのだそうです。実際にイランでは親子代々引き継がれ、百年二百年、擦り切れるまで愛用されるのだそうです。現代の利那主義的風潮の中では理解を得られにくいところかもしれませんが、本物の持つ魅力を改めて認識した展覧会でした。



平成17年8月19日～28日

一宮市子ども写生大会作品展

一宮市内の幼稚園・保育園児、小・中学生の絵画作品三七一点を展示しました。この作品展は毎年、感性あふれる、すばらしい作品を数多く生み出してきた「一宮市子ども写生大会（一宮市学童写生大会より改称）での上位入賞作品、学校代表作品を展示したものです。さらに本年度からは、新生一宮市として、多くの子ども達の参加を得て、より一層充実した内容となり、訪れる人々の目を楽しませてくれました。



平成17年9月2日～19日

企画展 二〇〇五 一宮美術作家新展

一宮美術作家協会五〇人による、最新の発想でイメージの試作を展開した力作六七点を展示しました。絵画・平面、彫塑・立体、

デザイン、工芸と多彩な作家の、個性豊かなそれぞれの作風を楽しむことができました。



平成17年9月23日～30日
企画展 「地球市民」二宮写真協会22人展

一宮写真協会より選抜された二二人による写真展。世界中が不穏な空気に包まれ、「自然や子ども達は大丈夫か？」そんな懸念があるからこそ、未来を元気で健やかにしなくてはという思いが募ります。「地球市民」として大きく熱い思いを込めた作品を展示。地球と共生している人、動物、植物、自然のメッセージが心に響く展覧会でした。



平成17年度下半期催し物のご案内

10月1日(土)～11月27日(日)	企画展「くらしの道具～今と昔～」
11月2日(水)	「市民文化財めぐり」
11月3日(祝)・6日(日)	「美濃路写真展」 於:みうら郷土館
11月6日(日)	「秋の博物館・美術館めぐり」
12月3日(土)～12月18日(日)	企画展「2005一宮市現代作家美術秀選展」
1月5日(木)～1月29日(日)	特別展「発掘された日本列島2005(新発見考古速報展)」
1月6日(金)	地域展「赤の美学-パレススタイル-」
2月5日・12日・19日・26日の各日曜日	木曾川資料館リニューアルオープン
3月5日(日)～3月19日(日)	博物館講座「尾張平野を語る10 戦国時代の尾張」
3月4日(土)・5日(日)・19日(日)	作品展「手つむぎ・染め・織り展」
3月26日(日)	博物館講座「はにわをつくろう」
	民俗芸能公演

新体制のご案内

合併により、尾西歴史民俗資料館・三岸節子記念美術館が加わりました。
今後、各館の強みを生かしながら、連携し、活動を進めていきたいと思っております。



博物館



三岸節子記念美術館

小宮中島字郷南3147-1 0586(63)2892
<http://s-migishi.com/>



尾西歴史民俗資料館

紀字下町211 0586(62)9711
<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/division/rekimin/>



木曾川資料館

大正13年(1924)に竣工した旧町会議事堂を活用している。

木曾川地区には、山内一豊関係資料・門閥遺跡出土品・民具類を展示する木曾川資料館があります。博物館では、現在、木曾川資料館のリニューアルを計画しており、12月に臨時休館し、翌年1月6日のリニューアルオープンを目指しています。リニューアル後は、山内一豊を中心とする市域の戦国武将にスポットを当てた展示になる予定です。

詳しくは博物館へお問い合わせください。

木曾川町黒田字宝光寺東18-1
(名鉄本線・新木曾川駅下車・踏切を渡り北へ徒歩5分)
木曾川資料館 tel.0586-87-5197

現在の開館日時 週3日(火・土・日) 午前10時から午後3時まで
※平成18年1月以降は月曜日が休館となります。開館時間は、午前9時30分から午後5時までです。

一宮市
博物館
だより

第37号

発行日……平成17年10月15日
編集・発行……一宮市博物館
制作……日本印刷株式会社

利用のご案内

名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車徒歩7分
〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺2390
TEL 0586-46-3215 FAX 0586-46-3216
【観覧料】(常設展・聴講料含む・特別展の場合は別途定める。)
一般=200円(160円) 高・大生=100円(80円)
小中生=50円(40円) * ()は20人以上の団体料金
【休館日】毎週月曜日、休日の翌日、12月28日～1月4日
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
※一宮市内の小・中学生は無料。(特別展期間中はのぞく。)
※一宮市発行の「シルバー優待証明書」持参の方は無料。
【HP】<http://www.kcm-jp.com/>

